

10分でわかる！

2025年12月IAASBボード会議

【説明者】

田邊 律也（当協会研究員）

坂口 正俊（当協会研究員）



IAASBの主なスケジュール（2025年～2027年）

プロジェクト名	2025年					2026年				2027年			
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	
監査証拠及びリスク対応						ED							承認
ISA 500シリーズ	情報 収集		PP		ED								
ISRE 2410	PP		ED						承認				
2028年～2030年戦略及び作業計画		情報 収集			CP								承認
複雑でない企業の監査(ISA for LCE)		情報 収集	PP		ED								
ISA 540(改訂)の適用後レビュー計画		情報 収集											
テクノロジー													

PP: プロジェクト・プロポーザルの承認予定

CP : コンサルテーション・ペーパーの公表予定

ED: IAASBボードでの公開草案の承認予定 承認: IAASBボードでの最終承認予定

監査証拠及びリスク対応

プロジェクトの概要

- 規制当局を含めた利害関係者から、監査証拠とリスク対応について統合的に扱うプロジェクトが必要との意見を受けたことから本プロジェクトを開始した。
- ISA 500^{*1}、ISA 330^{*2}及びISA 520^{*3}の改訂を同時に検討し、従来から行っていた監査証拠プロジェクトで扱っていた論点に加え、内部統制、テクノロジーに関連した論点が扱われている。

2025年12月ボード会議の審議概要

- 主に以下の論点について議論が行われた。

- ▶ ISA 330 第18項^{*4}
 - 当該項を削除した上で、重要な虚偽表示リスクが無いとの判断についての監査人の判断の根拠の文書化を要求する案や、当該項を原稿どおりとし、関連する適用指針の明確化を行う案、実証手続を実施する必要性を監査人が判断する案などが提案された。
- ▶ 書類の真正性
 - ISA 200のA24項^{*5}の一文目を削除し、当該項に文章を書き込む案が提案された。
- ▶ 分析的実証手続
 - 計上された金額と監査人の推定値との差異に対して、追加的な調査を行わなくても監査上許容できる差異の金額は、手続実施上の重要性以下とすることを求めることが再提案された。

タイムライン

2024年3月：情報収集

2024年9月：ボード審議

2024年12月：プロジェクト・プロポーザル承認

2025年3月、6月、9月：ボード会議

2025年12月：ボード会議



2026年6月

公開草案承認目標

意見募集期間：120日間を予定

2027年12月

最終基準IAASB承認目標

*1 ISA 500「監査証拠」

*2 ISA 330「評価したリスクに対応する監査人の手続」

*3 ISA 520「分析的手続」

*4 「監査人は、評価した重要な虚偽表示リスクの程度にかかわらず、重要性(material)がある取引種類、勘定残高又は注記事項に対して、実証手続を立案し実施しなければならない。」

*5 「監査人は、記録や証憑書類の真正性に疑いを抱く理由がある場合を除いて、通常、記録や証憑書類を真正なものとして受け入れることができる。」

2

ISA 500シリーズ

プロジェクトの概要

- テクノロジーの利用による影響を含め、現在の企業及び監査環境を反映するため、ISA 501^{*1}、ISA 505^{*2}及びISA 530^{*3}を改訂するプロジェクトを行うことを予定している。

2025年12月ボード会議の審議概要

■ 主に以下の論点について議論が行われた。

- これまでにIAASBが行った情報収集活動の結果が、プロジェクト・プロポーザル策定への適切な基礎を提供しているか
- 本プロジェクトによる基準改訂の範囲
 - ISA 505、ISA 501における棚卸資産及び確認に関する考慮事項を改訂する
 - ISA 501のうち訴訟事件等やセグメント情報は改訂対象としない
 - ISA 530は改訂対象としない（今後の継続的モニタリングする）
- プロジェクト・プロポーザル（案）の検討

タイムライン

2025年6月：情報収集

2025年12月：ボード会議

2026年3月

プロジェクト・プロポーザル
承認目標

2027年3月

公開草案承認目標

2028年6月

最終基準IAASB承認目標

*1 ISA 501「特定項目の監査証拠」

*2 ISA 505「確認」

*3 ISA 530「監査サンプリング」

ISRE 2410

プロジェクトの概要

- ISRE 2410* は、2005年に発行されて以来、ほとんど改訂が行われていない。一方、ISRE 2410が公表されて以来、ISRE 2400（改訂版）の公表や、期中レビュー業務に関するISAの改訂が行われたため、ISRE 2410の適用に問題や課題が生じている。
- 期中レビュー業務の目的に適合する形で、高まるステークホルダーの期待に対応し、また、独立監査人による、期中レビューの手続の立案及び実施並びに報告の際の一貫した実務を促進することを目的に、ISRE 2410の現代化及び改訂を検討する。

2025年12月ボード会議の審議概要

■ 主に以下の論点について議論が行われた。

▶ 重要性

- A53. 監査人は、期中財務情報全体に対する重要性の基準値の決定の出発点として、前期の財務諸表監査と同じ指標及び割合の使用を検討する場合がある。損益計算書に基づく指標（例えば税引前利益）を期中期間にに対して使用する場合、期中レビュー業務における重要性の基準値は、期末監査における重要性の基準値よりも低くなる場合がある。重要性は、期中財務情報の想定利用者にとって重要なものを示すため、これは適切である。

▶ 繼続企業

- 54. 監査人は、継続企業の前提に関する経営者の評価期間が期中財務情報の承認日から12か月に満たない場合、評価期間を期中財務情報の承認日から少なくとも12か月に延長するよう経営者に求めなければならない。

タイムライン

2024年9月：情報収集

2025年3月：ボード審議

2025年6月：プロジェクト・プロポーザル承認

2025年3月、9月：ボード審議

2025年12月：ボード審議



2026年3月

公開草案承認目標

意見募集期間：120日間を予定

2027年3月

最終基準IAASB承認目標

* 国際レビュー業務基準（ISRE）2410「独立監査人が実施する期中財務情報のレビュー」

その他

新たに開始されるプロジェクト

- 2025年12月ボード会議では、以下の3つのプロジェクトについての議論が行われた。

2028年～2031年の戦略及び作業計画

- 2028年から2031年の戦略及び作業計画の策定に向けて、今後、利害関係者の見解を聞くため以下を実施予定である。
- 2026年1月21日に共同オンライン調査が公表された。
(コメント期限：5月15日)

IAASB/
IESBA
共同

オンライン調査

コンサルテーション・
ペーパー

戦略及び作業計画



複雑でない企業の監査(ISA for LCE)

- ISA for LCE(2023年9月公表)は、2025年12月15日以降開始事業年度から適用が開始されている。
- 適用後3年目以降のISA for LCEの改訂に関する基本方針と、第1回目の改訂に関するプロジェクト・プロポーザルの承認審議が行われた。
- 基本方針はボードメンバー16名中15名が賛成、1名が反対、プロジェクト・プロポーザルは全員賛成で承認された。

ISA 540(改訂)の適用後レビュー計画

- 2019年12月15日以降開始事業年度から適用されているISA 540(改訂)に関する適用後レビューに関して、公開コンサルテーション調査文書の承認審議が行われ、ボードメンバー全員の賛成で承認された。
- 2026年2月17日にコンサルテーション調査文書の公表が予定される。
(コメント期限：6月15日)

監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組

[ホーム](#) > [協会について](#) > [協会の活動](#) > [監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組](#)

監査

監査以外の保証業務及びAUP

国際監査・保証基準

解説動画等

ワークプラン及び適用スケジュール

公開草案等へのコメント



公認会計士とは

専門情報

一般企業の方へ

ニュース

[ホーム](#) > [協会について](#) > [協会の活動](#) > [監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組](#) > [国際監査・保証基準](#)

国際監査・保証基準

国際監査・保証基準の基礎知識

国際監査・保証基準の基礎知識を紹介します。

国際動向紹介（監査・品質管理）

海外の監査・品質管理の動向を紹介するページにリンクします。

解説・会議報告等

IAASBが公表する国際監査・保証基準等の解説やボード会議、その他国際的な会議への参画について報告します。



